

体育学習・体育的活動中における事故防止について

秋田県教育庁保健体育課
学校体育・部活動チーム

内 容

- 1 本県の現状と安全指導
- 2 熱中症対策
- 3 プール施設・設備の安全管理
- 4 まとめ

【校種別における体育的活動時の 災害発生状況(R5年度)】

令和6年3月31日時点

	体 育 (保健体育)	体育的 クラブ活動	学 校 行 事	体育的 部活動	水 泳 指 導
小 学 校	3 1 2 (414/313)	9 (13/7)	2 0 (34/11)	8 (7/8)	1 (0/0)
中 学 校	3 7 5 (488/358)	-	3 0 (58/25)	7 3 0 (985/710)	0 (0/0)
高等学校	1 9 6 (268/201)	-	6 4 (65/71)	7 6 9 (1075/857)	-
合 計	8 8 3 (1170/872)	9 (13/7)	1 1 4 (157/107)	1 5 0 7 (2067/1575)	1 (0/0)

単位：件 ※()内は左：令和3年度/右：令和4年度
【独立行政法人日本スポーツ振興センター調べ】

【各校種の運動種目別発生件数】

令和5年3月28日時点

校種	小学校	中学校	高等学校
災害発生状況	体育授業 (312件)	体育的部活動 (730件)	体育的部活動 (769件)
発生件数 (上位5種目)	跳び箱運動 100件(+3)	バスケットボール 229件(+18)	野球 (含軟式) 164件(-10)
	マット運動 30件(-5)	野球 (含軟式) 99件 (+6)	バスケットボール 163件(-16)
	準備・整理運動 20件(+2)	バレーボール 64件 (-3)	サッカー・フットサル 100件(+20)
	鉄棒運動 19件(+9)	柔道 56件(+13)	バレーボール 53件(-30)
	バスケットボール 14件(-1)	サッカー・フットサル 38件(-11)	ラグビー 42件 (-3)

【独立行政法人日本スポーツ振興センター調べ】

【各校種の運動種目別発生件数】

校種	小学校	中学校	
災害発生状況	体育授業 (312件)	体育的部活動	
	跳び箱運動	バスケットボール	野球 (含軟式)
	100件(+3)	229件(+18)	164件(-10)
			バスケットボール
			163件(-16)
			サッカー・フットサル
			100件(+20)
	鉄棒運動	柔道	バレーボール
	19件(+9)	56件(+13)	53件(-30)
	バスケットボール	サッカー・フットサル	ラグビー
	14件(-1)	38件(-11)	42件 (-3)

バッティング練習の投手をしていたところ、バッターが打ったボールが防球ネットの隙間を通過して眉間に直撃(頭蓋骨骨折及び左鼻篩骨陥没骨折)

6段の跳箱を跳んだ際、着地場所のマットに左腕から着いたときに自分の身体が乗った。(左橈骨頭骨折)

味方からのパスを受けてシュートしようとしたところ、ディフェンス側の選手と接触し、相手の足の上に乗り上げ転倒。(右足首捻挫)

【事故の要因1】

安全教育

- ①自身の人為的要因
- ②他人からの人為的要因
- ③運動やスポーツの特性による要因
- ④体力・技能や発達の段階による要因

【児童生徒の安全に関する
意識を高める取組】

【教職員は…】

- オリエンテーションでの指導
- 毎時間の学習における指導

【児童生徒は…】（安全に配慮しながら…）

- 危険な状況を周囲に知らせる
- 簡単な点検作業に関わる



児童生徒の()能力の育成

【事故の要因 2】

安全管理

- ①活動計画や安全対策による要因
- ②施設・設備・用具等の要因
- ③自然現象や自然環境等の要因
- ④複合的な要因

【事故の要因 2】

安全管理

防球ネット、フェンス、
ブロック塀、サッカーゴール、
バドミントンの支柱、等々

①活動計画や安全対策などによる要因

②施設・設備・用具等の要因

③自然現象や自然環境等の要因

④複合的な要因

猛暑、雷、雪崩、竜巻、
等々

【学校安全点検の区分と時期等】

体育施設・設備・用具	定	学期に1回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に応じた指導計画・内容の検討 ・気象状況への適切な対処 ・緊急時の体制整備
	期	月に1回	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての体育施設・設備・用具の破損及び保管状況の確認 ・関係運動部活動顧問と連携した確認 ・必要に応じて業者への点検依頼
	臨時	体育的行事の前後、災害時など必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する体育施設・設備・用具の破損及び保管状況の確認 ・暴風雨・地震等などの自然災害時の確認 ・関係運動部活動顧問と連携した確認
	日常	体育授業及び運動部活動の活動ごと	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する体育施設・設備・用具の破損及び保管状況の確認 ・移動式設備・用具の固定状況の確認 ・体育設備・用具等の取扱い方に関する事前指導 ・習慣化の工夫と継続的实施

【参考】学校安全参考資料（文部科学省）等

【事故防止対策】

- ① スポーツの事故防止に関する理解や**危機管理の視点を踏まえた日常の安全管理及び指導の実施**
- ② スポーツの各種目の正しい指導方法・内容・ルール、環境条件の把握、審判の方法の**理解と徹底**及び事故の事例・傾向等の理解
- ③ 健康診断結果の把握と事後措置及び関係者間の**情報の共有**
- ④ **緊急連絡及び救急体制の確立**及び救急用品・AED等の整備と活用
- ⑤ 事前、運動中、事後の**健康観察**
- ⑥ **危機管理の徹底**



事故や事件による外傷は必ず防止できる！

内 容

- 1 本県の現状と安全指導
- 2 熱中症対策**
- 3 プール施設・設備の安全管理
- 4 まとめ

R 5 校種別における熱中症発生状況【秋田県】

	各教科等		特別活動 ※除学校行事	学校行事	課外指導			休憩時間	通学中	合計
	体育	その他			体育的部活動	文化的部活動	その他			
小学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
中学校	2 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	12 (9)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	18 (10)
高等学校	0 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	16 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0	18 (20)

単位：件 ※()内は令和4年度

【独立行政法人日本スポーツ振興センター調べ】

【熱中症について】

○発生環境

従来：高温環境下での労働や運動活動で発生

近年：気候変動等の影響により、一般環境における熱ストレスが増大（過酷な暑熱環境）

死亡リスク高！

○体温調節機能

高齢者 → 低下

幼児・児童 → 未発達

熱中症リスク高！

○基本的な対策

- ・熱中症についての正しい知識を持って予防を心掛ける
- ・熱中症に対して適切な処置を行うことができる

【熱中症の防止】

○各種活動に関する判断

暑さ指数を活用

暑熱環境における各種活動の中止を想定

→ 判断基準、判断者を具体的に定めておく

→ 教職員間で共通認識しておく

○児童生徒に対する対策のポイント

①顔色や汗のかき方を十分に観察する

②適切な飲水行動を学習させる

③日頃から暑さに慣れさせる

教職員の声掛け

暑さ指数（WBGT）の活用

表1-1 暑さ指数(WBGT)に応じた注意事項等

暑さ指数 (WBGT)による 基準域	注意すべき生活 活動の目安※1	日常生活における 注意事項※1	熱中症予防運動指針※2
危険 31以上	すべての生活 活動でおこる 危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
		外出時は炎天下を避け室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒 (激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
28以上 31未満			
警戒 25以上 28未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。	警戒 (積極的に休憩) 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
注意 25未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意 (積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

※1 日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3.1」(2021)

※2 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)

環境省 熱中症予防情報サイト

一部のコンテンツは多言語対応

「地図を表示」をクリックすると熱中症警戒アラートの発表状況が表示（右下図）

全国の暑さ指数を提供

熱中症警戒アラートの発表状況を公開

個人向けメール配信サービスや実況値等のデータ提供

The image shows a screenshot of the Environmental Agency's Heatstroke Prevention Information Site. The top navigation bar includes the Environmental Agency logo and the site title. Below the navigation bar, there are several sections: a red banner about heatstroke alert releases, a green button for displaying the map, and a blue button for providing national heat index data. The main content area is divided into two columns. The left column features a map of Japan with heat index data points, a table of heat index data for major cities, and a section for email distribution services. The right column features a map showing heatstroke alert status, a section for related information, and a section for topics. A large blue arrow points from the right column towards a red box at the bottom right.

暑さ指数	暑さ指数	暑さ指数	暑さ指数	暑さ指数
16.0以上	13.0以上	10.0以上	7.0以上	4.0以上
危険な状態	危険な状態	危険な状態	危険な状態	危険な状態

8月23日16時現在の実況値					
札幌	22.4	仙台	27.4	東京	27.2
名古屋	27.8	大阪	27.8	広島	27.3
福岡	28.0	鹿児島	28.8	那覇	28.3

環境省 熱中症予防情報サイト

<https://www.wbgt.env.go.jp/>

- ・ 情報提供は4月下旬の予定
- ・ 全国のほか、知りたい地域の暑さ指数を検索できる
- ・ 熱中症警戒アラートや暑さ指数のメール配信サービスもある



活動場所ごとに「暑さ指数」を計測すること！

図1-20「環境省熱中症予防情報サイト」における全国の暑さ指数情報（左上）、熱中症警戒アラート（右上）、熱中症予防に役立つお知らせやサービス（下）

平成30年度スポーツ庁委託事業
学校における体育活動での事故防止対策推進事業

学校屋外プールにおける熱中症対策



JAPAN SPORT
COUNCIL

独立行政法人日本スポーツ振興センター

【構成】

1. はじめに
2. 学校の管理下におけるプールでの熱中症発生の実態及び事例（小・中学校）
 - (1) 年度別
 - (2) 状況別
 - (3) 場合別
 - (4) 事例
3. 熱中症予防のための留意点
 - (1) 水中での活動の留意点
 - (2) プールサイドでの活動（見学・監視を含む）の留意点
4. プールでの熱中症を発生させないために
 - (1) 施設等による対策
 - (2) 事前指導による対策
 - (3) 更衣室等の対策
5. あとがき

内 容

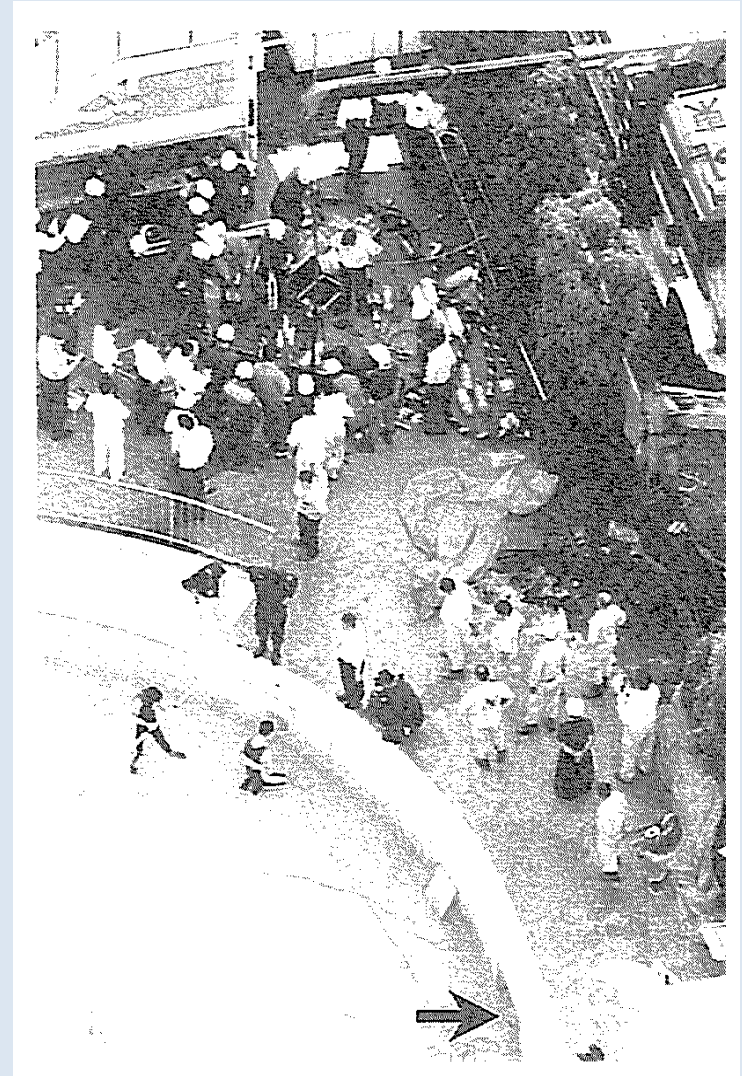
- 1 本県の現状と安全指導
- 2 熱中症対策
- 3 プール施設・設備の安全管理
- 4 まとめ

【安全管理講習会】

埼玉県ふじみ野市
大井プールでの
死亡事故

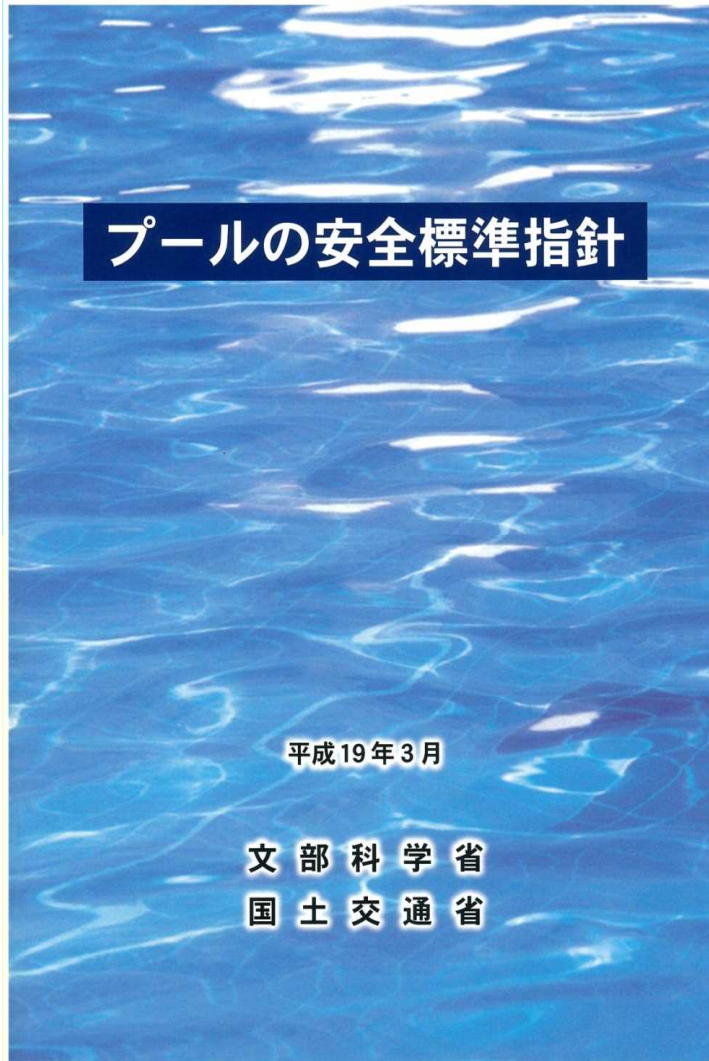
【平成18年7月31日発生】

平成19年4月2日文部科学省スポーツ・青少年局長決定による『**スポーツ施設等安全管理講習会実施要綱**』の趣旨に基づき、平成19年5月17日に**秋田県水泳プール安全管理講習会**を実施。



3 プール施設・設備の安全管理

【資料の活用】



https://www.mext.go.jp/sports/content/1306538_01_1.pdf



<https://www.gakkohoken.jp/books/archives/202>



【プールの安全利用のための施設基準】

※排（環）水口について

吸い込み事故を未然に防止するため、排（環）水口の蓋等をネジ、ボルト等で固定させるとともに、配管の取り付け口には吸い込み防止金具等を設置するなど、

二重構造の安全対策を施すことが必要である。

【事故を未然に防ぐ安全管理】

- プール使用期間前の点検と日常の点検について、**点検チェックシート**を用いて点検・整備を確実に行うこと。
 - ・ 排（環）水口蓋の固定
 - ・ 固定しているネジ、ボルトのゆるみ等
 - ・ 吸い込み防止金具の腐食等
 - ・ 管理日誌の活用（**3年以上保管**）

【緊急時の対応】

- ・ 緊急時対応の内容及び連絡体制を整備する。
- ・ 排（環）水口の異常が発見された場合は、
循環または起流ポンプを停止することが必要である。
- ・ 訓練の実施とともに、緊急時の初動心得の
掲示、始業時に行うミーティングにおける
確認等を徹底する。

【点検結果の掲示】

プールを安全に管理するためには、排（環）水口の位置等危険箇所の表示、プール利用に際しての注意・禁止事項、毎日の点検結果等を、利用者の見やすい場所に見やすい大きさとで掲示することが望ましい。

児童生徒に事前指導と周知を！

【事故防止の心得について】

2 内容の取扱い

- (6) 第2の内容の「D水遊び」及び「D水泳運動」の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれらを取り扱わないことができるが、**これらの心得については、必ず取り上げる**こと。

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編 P167

内容の取扱い

- エ 「D水泳」の(1)の運動については、第1学年及び第2学年においては、～中略～なお、水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを取り扱わないことができるが、**水泳の事故防止に関する心得については、必ず取り上げる**こと。また、保健分野の応急手当との関連を図ること。

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編 P118

内 容

- 1 本県の現状と安全指導
- 2 熱中症対策
- 3 プール施設・設備の安全管理
- 4 **まとめ**

【事故が繰り返される要因】

「無○」

「無○」

【確認・徹底事項】

① 未然防止のための手立て

② 事故発生時の対応

③ 事後措置

【参考資料】

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/>


文部科学省

[都道府県・政令市教育委員会作成資料一覧](#)

[文科省作成資料・取組・事業](#)

[今日のニュース](#)

[表彰制度](#)

[研修会情報](#)

[関連情報へのリンク](#)





文部科学省作成
学校安全参考資料一覧



文部科学省予算事業



都道府県・政令市教育委員会
作成資料一覧

当サイトは、学校安全のために、文部科学省や都道府県等で実施している取組やこれまでに作成した資料などを掲載しています。各地域で取り組まれている学校安全の実践事例等を共有し、防災教育を含む安全教育の更なる充実を図るために、情報発信を行っています。

What's New 新着情報

4月8日 2024

学校事故対応に関する指針と学校管理下における重大事故事例を更新しました。
『屋外でのサッカー活動中における高校生の落雷事故の発生について(令和6年4月5日 事務連絡)』について掲載しました。

4月4日 2024

今日のニュース「令和6年4月号」を更新しました。
『不審者を侵入させない安全な学校体制～3段階のチェック体制～』について掲載しました。

4月4日 2024

文科省作成資料・取組・事業の「全国での取組・モデル事業の概要と成果」を更新しました。
「学校安全総合支援事業」「学校安全教室推進事業」の令和6年度事業委託要項と概略図を更新しました。
「学校安全特別対策事業費補助金(令和5年度第1次補正予算事業)」の各種申請様式を更新しました。



学校における安全点検要領



学校事故対応に関する指針・事故事例共有 改訂版
令和6年3月

水害に備えた防災教育 マイ・タイムラインの活用について



学校への不審者侵入の防止と対応

Jアラートによる情報伝達と学校における避難行動(例)



教職員のための学校安全e-ラーニング

キーワードから探す

Google 提供
🔍

3月 アクセスランキング

1 学校事故対応に関する指針【改訂版】
[文部科学省作成](#)

2 学校における安全点検要領
[文部科学省作成](#)

3 学校における安全点検要領【リーフレット版】

【参考資料】

学校事故対応に関する指針と学校管理下における重大事故事例

> 学校事故対応に関する指針
【改訂版】

> 事故情報の共有・注意喚起

> 学校管理下における重大事故事例
(R2.3「横断整理」等)

> 学校事故対応に関する指針
【平成28年版(旧版)】

事故情報の共有・注意喚起

全国の学校現場等において発生した事故等の情報について、再発防止に繋げる観点から、発生状況や再発防止のための留意事項等を発信しています。

このページでは令和5年度以降の情報を集約していますので、今後の安全管理や安全教育に活かしていただくようお願いします。

- > 屋外でのサッカー活動中における高校生の落雷事故の発生について（令和6年4月5日 事務連絡）
- > ブロック塀崩落による受傷事故について（令和5年10月13日 事務連絡）
- > 部活動の帰宅中における中学生の死亡事案（熱中症疑い）の発生について（令和5年7月31日 事務連絡）
- > 小学校への不審者（不審車両）侵入事案の発生について（令和5年7月10日 事務連絡）
- > 校庭等における危険物の確認・除去等について（令和5年5月12日 事務連絡）

< ホームに戻る

【参考資料】

学校事故対応に関する指針と学校管理下における重大事故事例

> 学校事故対応に関する指針
【改訂版】

> 事故情報の共有・注意喚起

> 学校管理下における重大事故事例
(R2.3「横断整理」等)

> 学校事故対応に関する指針
【平成28年版(旧版)】

令和6年4月4日付け教保－54 防災気象情報の入手と積極的な活用並びに学校における事 故防止について(依頼・通知)

- > 屋外でのサッカー活動中における高校生の落雷事故の発生について(令和6年4月5日 事務連絡)
- > ブロック塀崩落による受傷事故について(令和5年10月13日 事務連絡)
- > 部活動の帰宅中における中学生の死亡事案(熱中症疑い)の発生について(令和5年7月31日 事務連絡)
- > 小学校への不審者(不審車両)侵入事案の発生について(令和5年7月10日 事務連絡)
- > 校庭等における危険物の確認・除去等について(令和5年5月12日 事務連絡)

< ホームに戻る

【参考資料】

学校事故対応に関する指針と学校管理下における重大事故事例

> 学校事故対応に関する指針
【改訂版】

> 事故情報の共有・注意喚起

> 学校管理下における重大事故事例
(R2.3「横断整理」等)

> 学校事故対応に関する指針
【平成28年版（旧版）】

「学校事故対応に関する指針」に基づく詳細調査報告書の横断整理

文部科学省においては、報告された調査報告書の概要を基に事故情報を蓄積し、教訓とすべき点を整理した上で学校、学校の設置者及び都道府県等担当課に周知することにより、類似の事故の発生防止に役立てることとしています。

これを踏まえ、令和元年度「学校安全の取組の質向上に向けた調査研究」において「『学校事故対応に関する指針』に基づく詳細調査報告書の横断整理」を行いました。

> 「学校事故対応に関する指針」に基づく詳細調査報告書の横断整理

本資料を通じて重大事故の事例の一端をあらかじめ知っていただき、万一の場合の的確な対応にお役立てください。

学校管理下における重大事故事例

「学校事故対応に関する指針」に基づく詳細調査報告書の横断整理（令和2年3月）に掲載している事例

- > 1 中学校ハンドボール部熱中症事故【事故①】
- > 2 小学校プール飛び込み事故【事故②】
- > 3 高校サッカー部活動中の熱中症事故【事故③】
- > 4 中学校体育授業中の跳び箱からの落下事故【事故④】
- > 5 高校ハンマー投げ事故【事故⑤】
- > 6 高校春山安全登山講習会での雪崩事故【事故⑥】
- > 7 中学校柔道部活動中における事故【事故⑦】

【参考資料】

文部科学省 × 学校安全

Google 提供

HOME
都道府県・政令市教育委員会作成資料一覧
文科省作成資料・取組・事業
今月のニュース
表彰制度
研修会情報
関連情報へのリンク

学校における安全点検要領

この安全点検要領は、学校の施設・設備等に起因する事故を防止することをねらいに、学校現場等における質の高い実効性のある安全点検を実施するための参考となるよう、学校における施設・設備の定期や日常の安全点検に関する標準的な手法や、専門的な知見を取り入れた外部人材等の活用の方考え方のほか、先進的な取組事例などを掲載しています。

- [▶ 解説動画（安全点検方法等の解説動画シリーズ）](#)
- [▶ 【リーフレット版】 <PDF : 3.8MB>](#)
- [▶ 【全体版】 <PDF : 13MB>](#)



安全点検要領について

▶

1. 点検要領の作成目的
2. 点検要領の構成
3. 消費者安全調査委員会からの意見



安全点検実施の考え方

▶

1. 児童生徒等の安全を確保するための安全教育との一体的な取組
2. 学校における安全点検のPDCAサイクル
3. 安全点検の実施体制と実施の流れ（例）
4. 改善措置と計画的な環境整備



安全点検の種類と対象

▶

1. 学校保健安全法施行規則に基づく安全点検（種類）
2. 「日常の安全点検」の実施の考え方
3. 学校における安全点検を行う対象の考え方
4. 点検の頻度と方法



事故等情報の共有

▶

1. 事故発生のリスク（日本スポーツ振興センター災害共済給付事例等を基に）
2. ヒヤリハット事例の活用

【参考資料】 「学校における体育活動中の事故防止のための映像資料」

-  学校における体育活動中の事故防止のための映像資料～①体育活動中における事故の状況：文部科学省
文部科学省/mextchannel
20:50
-  学校における体育活動中の事故防止のための映像資料～②体育活動の安全な実施：文部科学省
文部科学省/mextchannel
24:02
-  学校における体育活動中の事故防止のための映像資料～③事故が発生した場合の対応：文部科学省
文部科学省/mextchannel
18:40
-  学校における体育活動中の事故防止のための映像資料～④安全に配慮した体育活動の事例：文部科学省
文部科学省/mextchannel
11:08
-  学校における体育活動中の事故防止のための映像資料～⑤柔道の安全な実施（保健体育科の授業）：文部科学省
文部科学省/mextchannel
12:40
-  学校における体育活動中の事故防止のための映像資料～⑥柔道の安全な実施（運動部活動）：文部科学省
文部科学省/mextchannel
20:41
-  学校における体育活動中の事故防止のための映像資料～⑦水泳の安全な実施：文部科学省
文部科学省/mextchannel
15:03